当院における後天性血友病 A 患者の臨床像、治療および転帰に関する後ろ向き観察研究に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2026 年度 10 月 29 日　～　2029 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 帝京大学医学部附属病院における後天性血友病 A 患者の臨床像、治療および転帰に関する後ろ向き観察研究

〔研究目的〕

後天性血友病 A は、血液を固める働きをもつ「第 VIII 因子」に対して体の中で抗体が作られることにより、出血しやすくなる病気です。比較的まれな病気であり、特に高齢の方に多くみられます。本研究では、当院で後天性血友病 A と診断され、治療を受けた患者さんの診療記録をもとに、どのような背景をもつ患者さんが多いのか、どのような治療が行われてきたのか、治療後の経過や転帰はどうであったのか、を整理し、後天性血友病 A の診療の実態を明らかにすることを目的としています。

〔研究意義〕

後天性血友病 A は患者数が少ないため、実際の診療現場での治療経過や転帰についての情報は十分に蓄積されていません。近年、新しい止血治療薬（emicizumab）が使用されるようになってきていますが、実臨床における使用状況や治療経過については、まだ十分に明らかになっていない点があります。本研究により、当院における後天性血友病 A 診療の実態をまとめることで、今後の診療の質の向上や、同じ病気で治療を受ける患者さんにとってより良い医療の提供につながることが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2012 年 11 月から 2025 年 12 月までの間に、当院で後天性血友病 A と診断され、治療を受けた患者さんを対象とします。本研究は、過去の診療記録を用いて行う後ろ向き観察研究です。新たな検査や治療を行うことはなく、通常診療の中ですでに得られている以下のような情報、年齢や性別、基礎となるご病気、診断時の血液検査の結果、行われた止血治療や免疫抑制療法の内容、治療後の経過（出血の有無、入院期間、転帰など）を収集します。一部の患者さんでは、新しい止血治療薬である emicizumab が使用されていますが、本研究では治療の効果を比較・検証することを目的とするものではなく、診療経過を整理・記述する形で評価します。収集した情報は、個人が特定されないように加工したうえで解析を行います。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本研究で使用する情報は、氏名や住所などの個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号に置き換えたうえで取り扱います。個人情報は厳重に管理され、研究目的以外に使用されることはありません。また、本研究の結果が学会や論文で公表される場合でも、個人が特定されることはありません。また、既に解析が終了し研究成果が公表されている場合には、当該情報を廃棄できないことがあります。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名　田代 晴子　　職名 教授
所属: 医学部内科学講座
住所:〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1　TEL:03-3964-1211 （代表）